科目名 Subject	海外研修（アメリカ） Overseas Study(U.S.A)		教員名	専攻主任	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	◎
科目の概要	アメリカショービジネスで使用されているメイクアップ手法を、最前線で活躍しているメイクアップアーティストから実地で学ぶ。				
授業の目標	日本国内では得ることの出来ない、技術や、知識、スケール感等肌で感じることで、普段の授業に関係づけたり、応用したりすることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	学生は事前に各学習テーマを研究すること 帰国後の日本との違い等を確認・復習することとする				
教科書・教材	教科書	必用に応じ現地で渡されます			
	教材	メイクアップＩの授業で使用した教材、タオル、ティッシュ、コットン			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	作品制作４０％、プレゼンテーション３０％、平常点３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	有意義な研修とするためには、事前の説明会への参加のみならず、自らが意欲をもって事前に調査研究しておくことが望まれる。原則として集団行動をとるため、参加に当たっては特に自覚的参加とマナーを守ることが求められる。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	特殊　SFX メイクアップ 講師のデモンストレーション後、実践、撮影を繰り返し実施する。	SFX makeupの基本を理解し、できるようになる	血糊、切り傷、擦り傷等をシリコーン素材等を使用することが出来る 各実習後９０分程度の復習を行うこと
第２回			
第３回			
第４回			
第５回			
第６回	TVとFilm、Photoの違いについて講師のデモンストレーション後、実践、撮影を繰り返し実施する。	映画、写真、TV等で使用されるメイクのデモを見学し、手法を習得し、実践できるようになる	映画、写真、TV等で使用されるメイクの違いを理解することが出来る 各実習後９０分程度の復習を行う
第７回			
第８回			
第９回			
第１０回			
第１１回	フェイスペインティング　（エアブラッシュデモンストレーション）	芸術的フェイスペインティングで使用されるメイクのデモを見学し、手法を習得し、実践できるようになる	芸術的フェイスペインティングで使用されるメイクの違いを理解することが出来る 各実習後９０分程度の復習を行う
第１２回			
第１３回	アメリカンメイクアップトレンド－日中～夜間 アイラッシュデモ /ヘアリムーバルデモ	日常（昼用、夜用）で使用されるメイクのデモを見学し、手法を習得し、実践できるようになる	日常（昼用、夜用）で使用されるメイクの違いを理解することが出来る 各実習後９０分程度の復習を行う
第１４回			
第１５回	プロフィール写真用 メイクアップ	ショービジネスで使用されるヘッドショット近接写真用メイクのデモを見学し、手法を習得し、実践できるようになる	ショービジネスで使用されるヘッドショット近接写真用メイクの違いを理解することが出来る 各実習後９０分程度の復習を行う